

●農林水産業費 4億2,955万円

(町民一人あたり 2万8,470円 前年度比+1.5%)

農と食による地域の魅力創造事業	75万円
戦略的園芸産地拡大支援事業	200万円
放射能自主検査事業	28万円
経営体育成支援事業	1,800万円
川戸・金剛地区ため池整備事業	816万円
農村災害対策整備事業 (鮎貝排水機場改修整備)	1,120万円
萩野地区農地環境整備事業	1,589万円
水頭地区ため池整備事業	1,040万円
農業用河川工作物応急対策事業 (諏訪堰頭首工整備)	484万円
浅立地区経営体育成基盤整備事業	190万円
人・農地プラン作成事業	147万円
新規就農総合支援事業	1,506万円
森林再生事業	22万円

●商工費 2億6,699万円

(町民一人あたり 1万7,695円 前年度比+5.5%)

専門家派遣支援事業	100万円
観光4シーズン化推進事業	680万円
ふるさと森林公園整備事業	6,285万円
観光交流計画策定事業	135万円
紅花の里づくり推進事業	200万円
デスティネーションキャンペーン対策事業	214万円
商業活性化促進事業	300万円
建築需要促進事業	500万円
農工商観連携推進事業	496万円
6次産業化支援事業	201万円
白鷹サテライトオフィス設置事業	424万円

●土木費 7億4,196万円

(町民一人あたり 4万9,175円 前年度比+1.8%)

安全対策事業(町道・橋梁)	1,800万円
道路改良事業	1億240万円
「すまいる!四季の郷」定住促進プロジェクト	360万円
住宅耐震化促進事業	1,357万円
住宅総合計画策定事業	258万円



○農業集落排水事業では、町設置管理型の合併浄化槽整備と生活排水処理対策を積極的に推進します。

○上水道事業では、安全かつ低廉な水を安定的に供給するため、配水管整備事業等を計画的に行い、公営企業の健全経営に努めます。

◆地域公共交通の確保

○デマンド型乗合タクシーと住民混乗型スクールバスを継続して運行するとともに、フラワー長井線の利用拡大の取り組みや経営改善に向けた支援を継続します。

◆環境の保全

○第2次白鷹町環境基本計画に基づき、環境保全、環境美化、環境教育活動などに携わる団体や事業者と情報交換を行い、持続可能な美しいまちづくりを進めます。

3. 地域

◆地域コミュニティの再構築

○これまでの、生涯学習中心の公民館から、新たな地域づくりの拠点となるコミュニティセンター化にむけた取り組みを引き続き推進し、平成27年度からの移行をめざします。

◆保健・医療・福祉の充実

○高齢者の健康づくりや介護予防を推進するとともに、生きがいのある生活を送ることができるよう、セーフティネットの充実に努めます。緊急時に速やかな対応ができるよう、単身高齢者訪問事業を新たに実施します。

○障がい者福祉については、障がいを持つ方の生活支援や環境の整備に取り組みます。特に、知的障がいを持つ方が利用するグループホームの整備は早

期の具現化に向けて取り組みます。

○健康づくり事業では、特定健診において腎機能検査を導入するとともに、女性の健康管理の推進のため新たに骨粗しょう症検診へ助成を行います。各地区で健診結果の説明会を行い、健康づくりに対する意識の向上を図ります。

○赤ちゃん訪問など母子保健事業や未熟児養育医療給付事業を引き続き実施し、健全な子どもの育成と子育て支援に対応します。

○町立病院については、訪問看護ステーションも含め、診察等の業務はもとより、経年劣化した医療機器の更新や患者用ベッドの更新など入院環境の整備を行い、医療サービスの向上に努めます。他の病院等と医療連携を図り、「地域住民から信頼される病院」を基本理念として、地域医療の中核を担います。

○病院経営は全国的に厳しい状況にあ

りますが、今後とも医師をはじめとした医療スタッフの確保に努めるとともに、病院運営の効率化を図り、経営の健全化に努めます。

◆安心・安全の確保

○全自動積載車、小型動力ポンプの更新など消防施設の整備を行い、緊急・災害時の資機材についても備蓄し非常に備えます。また、消防団の装備の充実し、配備した緊急連絡用機材を利用し、地域防災力を強化します。

○交通安全施設の整備を行い、交通安全教室の開催、街頭啓発活動の実施など、事故防止に向けた取り組みを行います。

○白鷹町防犯協会と事業所が連携しながら防犯パトロール活動を展開し、関係機関合同での通学路点検やLED防犯灯の設置など、安全で安心なまちづくりを進めます。